

宮崎県都城市における豚熱の疑い事例及び熊本県多良木町の野生いのししにおける豚熱感染確認（2例目）について

本日（4月9日）、宮崎県都城市の養豚農場において豚熱の疑い事例が確認された旨、連絡がありました。現在、国の動物衛生研究部門（東京都小平市）において確定検査が行われていますが、陽性となれば九州での豚熱発生は令和5年（2023年）の佐賀県に続き2例目（国内103例目）となります。

また、本日、本県多良木町の死亡野生いのししで2例目の陽性事例が確認されました。

これを受け、明日（4月10日）、関係者を参集した熊本県豚熱緊急防疫対策会議を開催することとしております。

1 宮崎県の養豚農場における発生概要

（1）農場の概要

所在地：宮崎県都城市

飼養状況：豚一貫経営農場 約5,500頭飼養

（2）国による確定検査結果の公表予定

4月10日（金）昼（予定）

2 多良木町の死亡野生いのししの概要

（1）回収地点：球磨郡多良木町槻木

（2）回収日：令和8年（2026年）4月8日

（3）検査結果：中央家畜保健衛生所の検査で陽性確定（4月9日）

3 本県の対応

（1）熊本県豚熱緊急対策会議の開催

開催日時：4月10日（金）15時から

場所：県庁防災センター313会議室（フルオープン）

（2）家畜保健衛生所による全戸調査等

県内の全ての養豚場に情報提供及び飼養衛生管理基準の遵守徹底の指導を行うとともに、飼養豚の健康状態の確認を実施。

（3）野生いのししへの経口ワクチン散布

県北（菊池市、山鹿市、和水町）及び県南地域（人吉市、錦町、多良木町、あさぎり町）での定期散布を速やかに実施予定。

お問い合わせ先

農林水産部生産経営局畜産課

担当：幸野、徳永

内線：37557

ダイヤル：096-333-2402